

第1回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和7年7月29日(火曜)		午前10時40分 開会			
	休憩 11:54-11:55					
	午前11時57分 閉会					
	休憩時間: 0時間1分		会議時間: 1時間16分			
会議場所	役場3階 委員会室					
出席委員 氏 名	委員長	木村 淳彦	委員	早苗 豊	委員	伊藤 稔
	副委員長	堀切 忠	委員	立川 美穂	委員	菊池 秀明
	委員	西尾 一則	委員	渡辺洋一郎		
	委員	常通 直人	委員	小笠原 等		
	委員	正村紀美子	委員	橋本 和仁		
	委員	中村 和宏	委員	伊藤 稔	議長	梶澤 幸治
		魅力創造課参事	中村 宗紀	政策推進課長		有澤 勝昭
		魅力発信係主査	藤村 勇貴	政策推進課長補佐		中田 雅彦
		環境土木課長	橋本 直樹	生涯学習課スポーツ振興係長		梅森 祐之
参考人						
欠席委員 氏 名	委員 中田智恵子					
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川 恭史	総務係主査	大石真澄
<p>1 開 会</p> <p>木村委員長(総務経済常任委員会)が開会を告げ、中田智恵子議員から欠席の申出があった旨報告し、事務局から委員会の日程について説明をする。</p> <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p>ア Park-PFI 事業の公募概要について 資料1-1.1-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力創造参事: 資料説明(「資料1-1」「資料1-2」)。 ・委員長: 「資料1-1」の1ページについて、質疑はないか? ・立川委員: 収入予定見込み額は。 ・魅力創造課参事: 必須提案施設のみで約1000㎡なので、年間約60万円の見込み。民間事業者から、50円/㎡・月を上回る提案があれば、さらに増える。 ・立川委員: 持続的運営が可能な金額という認識でよいか。 ・魅力創造課参事: 下限額は、固定資産の評価額からの算出している。自治体により算出方法は異なるが、本町の場合、一定程度の収入を見込みつつ、民間事業者からの提案をふくめて考えている。 ・正村委員: 必須提案施設として、モンベルショップが明記されている。モンベルシ 						

ョップを必須とした検討経過を説明してほしい。

- 魅力創造課参事：嵐山再生にあたってのグランドデザインと芽室公園の再整備構想としてのPark-PFIの導入実施、これらが一つになって、サウンディング調査を実施したところ、「モンベルショップを核としたパークPFI事業は、市場性を有する可能性がある」ことから、現在に至っている。
- 正村委員：公募概要には「地域内経済循環」とある。地域内循環には、まちなか再生が大きく関わると思うが、まちなか再生との連携について、具体的なイメージはあるか。
- 魅力創造課参事：まちなか再生は、経済面の活性化だけでなく、教育、文化などを含めて「まちの魅力」を高めることを目指している。商店会、商工会、商工協同組合等と意見交換を実施し、いろいろなご意見をいただいていることから、町も一緒に検討し連携していく考えである。
- 正村委員：関係団体との連携は理解した。今後、募集説明会を開催するなかで、まちなか再生との連携のイメージを固めておかなければ、対応できないのでは。また、経済だけではない活動、教育なども含めて、町は何を望んでいるのか明確に示すべきではないか。
- 魅力創造課参事：公募設置等指針を公表の際には、再生ビジョンを示す予定。そのうえで、民間事業者から商店街との連携も提案もいただく。町の考えを押し付けるのではなく、商店街事業者が何を望むのか、今後意見を出し合って進めていきたい。
- 正村委員：町がどうしたいのかを、関係団体も知りたいはず。協議は大切だが、町の考えも示しながら進めるべきと思う。
賃料について、事業者の提案を待つことになるが、町としても、基本的な考え方は持つべきでは。
- 魅力創造課参事：民間事業者設置の施設なので、賃料はその内容による。ただ、他自治体の実績から、ある程度の想定は持っている。モンベル関連会社が設計に入るので、町も関わりながら協議、依頼していく。単価は、民間単価を使用するので、一定程度の抑制は働くものと想定している。
- 正村委員：賃料については、収益と連動する、指定管理委託料と一体化など、手法はいろいろあるが、こうしたことも検討して交渉にあたるのか。
- 魅力創造課参事：整備費だけではなく、ランニングコストについても重要な視点。他自治体事例を参考にしながら、検討したい。
- 常通委員：応募事業者からの提案は、必須施設のみで、任意提案がないといったことは想定されるのか。
- 魅力創造課参事：最低限求められた施設のみという提案はあり得る。しかし、公園の利便性向上、魅力増進といった観点から、そのような提案があった場合を想定して、どのように評価するのか検討は必要と考える。
- 早苗委員：町ができることとして、事業規模拡大のための融資枠確保とか、土地利用の規制解除を国に求めるなど、具体的な提案の予定はあるのか。
- 魅力創造課参事：交付金を活用し、起業支援や新分野への補助金などは、すでに実施している。規制緩和の働きかけは町でなければできない部分なので、要望があれ

ば検討していく。

・委員長：他にないか？

・(質疑なし)

・委員長：次に2ページについて、質疑はないか？

・鈴木委員：必須施設の駐車場は、だれでも駐車できるとの認識でよいのか。

・魅力創造課参事：公園利用者は、誰でも使用できる。

・鈴木委員：公園で開催されるイベント利用者（花火、氷灯夜など）も可能か。

・魅力創造課参事：現時点の案では、花火大会、氷灯夜開催への協力を求めることを明記している。

・菊池委員：町の実質負担上限額は5億円だが、事業費全体の財源内訳は。

・魅力創造課参事：民間事業者から提案される負担割合によって変更はあるが、従前の制度で公的資金対応だった部分（特定公園施設）のうち、民間負担が最低の10%だった場合は、例：10% 民間資金、45% 交付金、45% 公的資金・起債充当（交付税措置あり）となる。

・早苗委員：駐車場の内容はどのようなものか。現在の芽室公園では大型車両の利用がある。大型車両が利用できる駐車場となるかどうかは、提案者に任せるのか。

・魅力創造課参事：モンベルショップとビジターセンター用に100台程度は必須としている。これ以上の提案があるかどうかは、民間事業者の考えによる。意見交換では、大型車の利用も想定し対話している。

・正村委員：公園の利便性向上がうたわれているが、運動広場だけがPark-PFIの対象。芽室公園全体を視野にいれるべきではないか。

・魅力創造課参事：特定公園施設提案の際には、芽室公園全体の一体感や利便性が高まるような提案を期待する旨を盛り込んでいる。具体的には、地域還元の提案を明記し、その提案について評価することを考えている。

・正村委員：町は公園の維持管理費を課題としていた。芽室公園全体の維持費削減をめざすべきでは。

・魅力創造課参事：あくまで芽室公園再整備構想が前提である。再整備の一手法としてPark-PFIがある。維持費削減の視点は必要であり、民間視点での新たな提案をいただきながら進めたい。

・委員長：他にないか？

・(質疑なし)

・委員長：次に3ページについて、質疑はないか？

・(質疑なし)

・委員長：次に4ページについて、質疑はないか？

・菊池委員：公募設置選定委員会の構成はどうなっているのか。第三者性の担保はどうするのか。

・魅力創造課参事：学識経験者として4名（大学教授1名、町内3名）。課長職3名。

合計7名。現時点では、審議内容は非公開としている。

- ・菊池委員：モンベルとの事前調整はあるのか？
- ・魅力創造課参事：公募対象公園施設の条件決定のため、モンベルとは協議を行っている。選定前に事業者とモンベルとの交渉は、公平性担保の観点から不可としている。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)

- ・委員長：次に「資料1-1」全体について、質疑はないか？
- ・(質疑なし)

- ・委員長：次に「資料1-1」について、質疑を終了する。
- ・委員長：「資料1-2」の1ページについて、質疑はないか？
- ・(質疑なし)

- ・委員長：次に2ページについて、質疑はないか？
- ・(質疑なし)

- ・委員長：次に3ページについて、質疑はないか？
- ・菊池委員：事業区域にはソフトボール場、サッカー場があるが、既存利用者への影響、対応方針は。
- ・魅力創造課参事：ソフトボール場は南多目的運動広場へ機能統合し、すでに活動している団体もある。サッカー場は、JA西の芝グラウンドを利用中。芝のグラウンドを使いたいとの要望が以前からあった。利用団体とは、教育委員会が窓口になり丁寧な説明をしていきたい。
- ・菊池委員：利用者からの意見聴取は完了しているのか。
- ・魅力創造課参事：各利用者への説明は完了している。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)

- ・委員長：次に4ページについて、質疑はないか？
- ・常通委員：公募対象公園施設の設置場所はなぜ、ここなのか。国道からの導線が悪く、メリットがないように思う。
- ・魅力創造課参事：モンベルとは現地を確認し、施設規模などからいったん場所を選定している。場所は確定しているわけではないので、今後提案により協議していく。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)

- ・委員長：次に5ページについて、質疑はないか？
- ・(質疑なし)

- 委員長：次に6ページについて、質疑はないか？
- (質疑なし)

- 委員長：次に7ページについて、質疑はないか？
- (質疑なし)

- 委員長：次に8ページについて、質疑はないか？
- (質疑なし)

- 委員長：次に9ページについて、質疑はないか？
- (質疑なし)

- 委員長：次に10ページについて、質疑はないか？
- (質疑なし)

- 委員長：次に「資料1-2」全体について、質疑はないか？
- (質疑なし)
- 委員長：次に「資料1-2」について、質疑を終了する。

- 委員長：最後に「資料1-1」及び「資料1-2」全体について、質疑はないか？
- 立川委員：災害時の避難場所として、新たな防災機能は整備しないのか。
- 魅力創造課参事：年間10万人以上の来訪者を想定し、人の往来も多い。芽室公園は、緊急避難場所でもある。現在、具体的な案はないが、新たな整備とあわせ、防災機能の整備の可能性はあろうかと思う。民間事業者と協議しながら進める。
- 渡辺委員：駐車場が24時間利用可能なら、キャンピングカー、車中泊による利用なども想定される。近隣住民への説明（騒音、排気ガス、防犯等）はどうするのか。
- 魅力創造課参事：近隣住民の合意は必要。周辺住民への説明を予定している。
- 早苗委員：今回の再整備を機に、国道から直接アクセスできるようにするのか。意見交換でそのような要望はあるのか。
- 魅力創造課参事：道路事務所へ問い合わせ、条件はあるが、不可能ではないことを確認済み。事業者からの提案内容と合わせ、協議していきたい。
- 早苗委員：小規模でも道の駅指定をうけるような検討はしないのか。
- 魅力創造課参事：民間事業者から道の駅の提案があった場合には協議していく。
- 委員長：ほかにないか
- (質疑なし)
- 委員長：調査事項「ア」の調査を終了する。

- 委員長：自由討議を行う。意見はないか？
- (意見なし)

- ・委員長：以上で自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について

- ・委員長：両常任委員長協議とする。

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、合同委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	2名
<p>令和7年7月29日</p> <p>総務経済常任委員会委員長 木村淳彦</p>								
議長	副議長	局長	係長	主査	作成者氏名 大石真澄			